

株 主 メ モ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金受領株主確定日	期末配当 11月30日 中間配当 5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	電子公告（当社ホームページ） ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社に関する情報がご覧になれます。



<http://www.hokkochem.co.jp/>

～株主の皆様へ～

第 64 期 中間事業レポート

（平成24年12月1日から平成25年5月31日まで）



UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



〒103-8341 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号
TEL 03（3279）5151



北興化学工業株式会社

●株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第64期上期（平成24年12月1日から平成25年5月31日まで）の事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

■ 上期の事業の経過および成果

当期間におけるわが国経済は、輸出の下げ止まりや製造業を中心に企業収益が改善するなど、着実な持ち直しの動きが見られました。また、円安・株高の影響や政府の経済政策への期待感などにより消費者マインドの改善が続く中、個人消費についても堅調に推移いたしました。

国内農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、後継者不足や耕作放棄地の増加など構造的な問題を抱え厳しい状況が続いています。これに対し政府では「農林水産業・地域の活力創造本部」において「農林水産物の輸出倍増戦略」・「付加価値を増大させる6次産業化市場の拡大」・「農地集

積による農業の構造改革の推進」の方針のもと、TPPへの交渉参加を踏まえて日本農業の競争力強化を目的としたプラン策定のための議論が進められています。

このような状況のもと、当社グループは積極的な販売に努めましたが、農薬事業における水稻除草剤の販売不振やファインケミカル事業における国内需要の低迷の影響などにより、全体の売上高は211億5千9百万円（前年同期比6億5千4百万円の減少、同3.0%減）となりました。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、売上高の減少により5億6千7百万円（前年同期比9千8百万円の減少、同14.7%減）となりました。

経常利益につきましては、為替差益の大幅な増加により7億5千3百万円（前年同期比2億4千4百万円の増加、同47.9%増）、四半期純利益につきましては、前期に発生した法人税等の減税に伴う一時的な税金費用がなくなり、4億1千8百

万円（前年同期比3億2千2百万円の増加、同333.3%増）となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、期初の予想通り1株につき4円とさせていただきましたので、ご案内申し上げます。また、年間の配当につきましては、8円とさせていただく予定でございます。

■ 通期の見込み

当社グループの通期の業績予想につきましては、当初発表どおり、売上高416億2千万円、営業利益12億9千万円、経常利益11億5千万円、当期純利益6億6千万円を見込んでおります。

農薬事業におきましては、安定した収益を確保できるよう、製造原価をはじめとする様々なコストの削減、業務の見直しによる生産性や業務効率の向上、効率的な生産体制の構築による在庫の削減に努めます。

ファインケミカル事業におきましては、電子材料原料、医農薬中間体、樹脂添加剤など主力分野の製品拡販並びに海外での市場開拓や販売強化に努めます。また、新製品の早期開発・製品化に注力し利益性の改善を図ってまいります。

今後とも株主の皆様の期待と信頼に応えるよう業績の向上を図るとともに、企業価値を高めてまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年8月



代表取締役社長

中島喜勝

●連結財務諸表(要旨)

●第2四半期連結貸借対照表 (単位：百万円)

科 目	期 別		
	当第2四半期 (平成25年5月31日現在)	前第2四半期 (平成24年5月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年11月30日現在)
(資 産 の 部)			
流 動 資 産	31,266	31,802	28,711
固 定 資 産	13,913	13,314	13,038
資 産 合 計	45,179	45,116	41,750
(負 債 の 部)			
流 動 負 債	22,978	23,394	20,883
固 定 負 債	7,714	8,603	7,564
負 債 合 計	30,692	31,996	28,447
(純 資 産 の 部)			
株 主 資 本	13,118	12,877	12,811
資 本 金	3,214	3,214	3,214
資 本 剰 余 金	2,608	2,608	2,608
利 益 剰 余 金	8,291	8,048	7,983
自 己 株 式	△ 996	△ 994	△ 995
その他の包括利益累計額	1,369	242	491
その他有価証券評価差額金	1,201	523	691
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	23	△ 4	9
為 替 換 算 調 整 勘 定	146	△ 277	△ 209
純 資 産 合 計	14,487	13,119	13,302
負 債 及 び 純 資 産 合 計	45,179	45,116	41,750

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

●第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	期 別		
	当第2四半期 (平成24年12月 1 日から 平成25年 5 月31日まで)	前第2四半期 (平成23年12月 1 日から 平成24年 5 月31日まで)	前連結会計年度 (平成23年12月 1 日から 平成24年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,722	△1,471	5,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 971	△ 900	△1,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,622	2,642	△3,064
現金及び現金同等物に係る換算差額	182	1	38
現金及び現金同等物の増減額	111	272	475
現金及び現金同等物の期首残高	1,098	623	623
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,209	895	1,098

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

●第2四半期連結損益計算書 (単位：百万円)

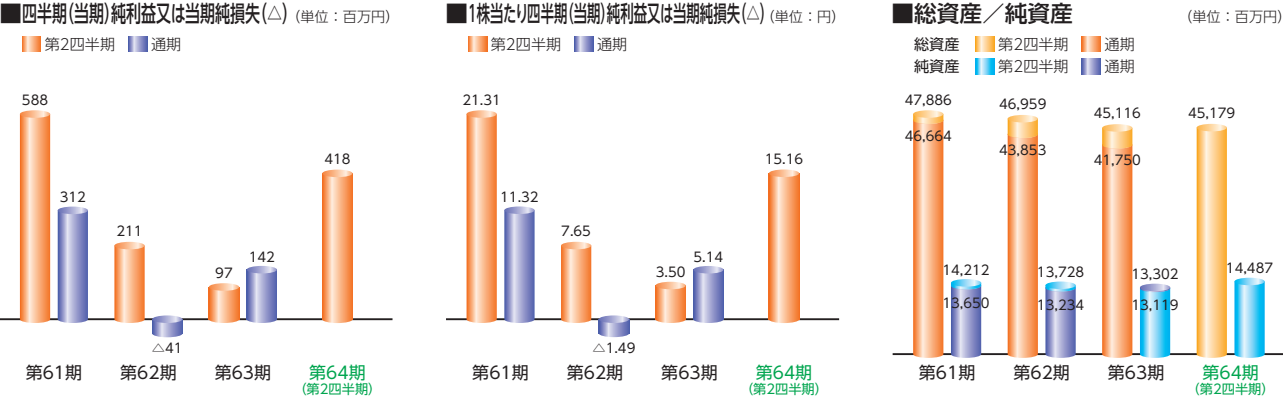
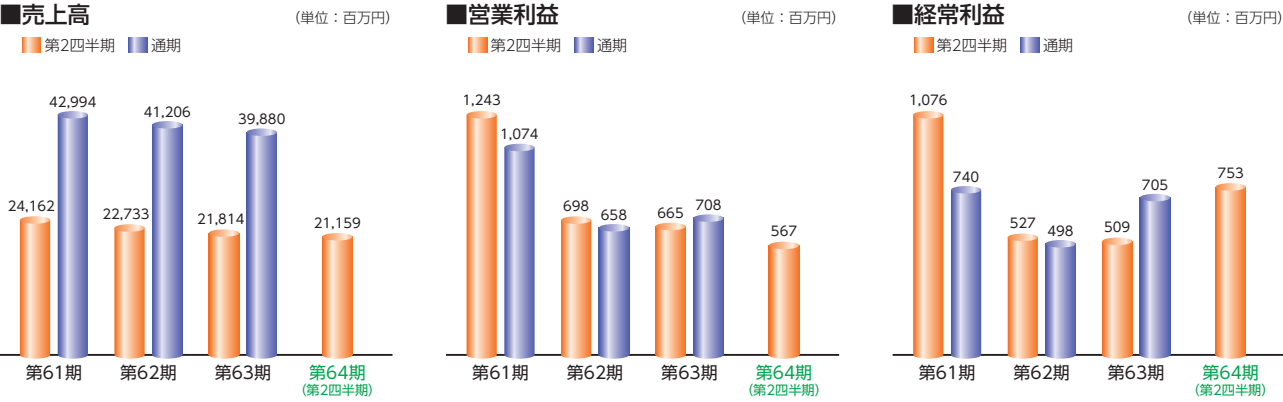
科 目	期 別		
	当第2四半期 (平成24年12月 1 日から 平成25年 5 月31日まで)	前第2四半期 (平成23年12月 1 日から 平成24年 5 月31日まで)	前連結会計年度 (平成23年12月 1 日から 平成24年11月30日まで)
売 上 高	21,159	21,814	39,880
売 上 原 価	16,556	17,011	30,962
売 上 総 利 益	4,603	4,803	8,919
販売費及び一般管理費	4,036	4,138	8,211
営 業 利 益	567	665	708
営 業 外 収 益	491	189	641
営 業 外 費 用	304	345	644
経 常 利 益	753	509	705
特 別 利 益	1	0	15
特 別 損 失	36	24	83
税 金 等 調 整 前 四半期(当期)純利益	719	485	636
法 人 税 等	300	389	494
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四半期(当期)純利益	418	97	142
四半期(当期)純利益	418	97	142

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。

●連結財務ハイライト

	第61期		第62期		第63期		第64期
	(第2四半期)	(通 期)	(第2四半期)	(通 期)	(第2四半期)	(通 期)	(第2四半期)
売上高 (百万円)	24,162	42,994	22,733	41,206	21,814	39,880	21,159
営業利益 (百万円)	1,243	1,074	698	658	665	708	567
経常利益 (百万円)	1,076	740	527	498	509	705	753
四半期(当期)純利益又は当期純損失(△) (百万円)	588	312	211	△ 41	97	142	418
1株当たり四半期(当期)純利益又は当期純損失(△) (円)	21.31	11.32	7.65	△ 1.49	3.50	5.14	15.16
総資産 (百万円)	47,886	46,664	46,959	43,853	45,116	41,750	45,179
純資産 (百万円)	14,212	13,650	13,728	13,234	13,119	13,302	14,487

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。



●トピックス●●●

農薬事業グループ

●病害から果樹をしっかり守る…果樹用殺菌剤「フルーツセイバー」を新発売

「フルーツセイバー」は有効成分ペンチオピラドを15%含有する新規系統の果樹用殺菌剤です。本剤は、幅広い果樹主要病害に効果を示し、また既存の薬剤に耐性を示し効きにくくなった病害にも優れた効果を発揮するなどの特長を有することから、主要産地における基幹防除剤として普及が期待されます。

幅広い時期に使用可能で、また水和剤と比べ取り扱い易いフロアブル製剤であることなど使用者への利便性も兼ね備えた薬剤です。

現在は果樹5作物（りんご、なし、ぶどう、もも、おうとう）の登録ですが、今後も登録作物拡大に向け開発を進めており、普及場面の拡大が見込まれます。



ファインケミカル事業グループ

●日本プロセス化学会2013サマーシンポジウム参加

7月中旬、「日本プロセス化学会2013サマーシンポジウム」（於つくば国際会議場）に参加しました。昨年販売を開始したAmphos（アムホス）、Xantphos（キサントホス）、DPEphos（ディーピーイーホス）およびDPPF（ディーピーピーエフ）などの触媒配位子用ホスフィン化合物の工業化と応用について、反応例を用いて特徴を紹介いたしました。企業・大学でプロセス化学に携わっている方々にお越しいただき、活発な情報交換を行ないました。



シンポジウムの様子

●会社の概要●●●

会社の商号 北興化学工業株式会社
(英 訳 名) HOKKO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
本 社 東京都中央区日本橋本石町四丁目 4 番20号
創立年月日 昭和25年 2 月27日
資 本 金 32億1,395万円
上場取引所 東京証券取引所 市場第 1 部上場
従 業 員 数 678名

●役員・執行役員の状況●●●

取 締 役 会 長	丸 山 孝 雄
代 表 取 締 役 社 長	中 島 喜 勝
取締役専務執行役員	安 部 素 生
取締役常務執行役員	小 林 淳 一
取締役常務執行役員	小 川 裕 二
取締役常務執行役員	内 山 次 男
取締役常務執行役員	大 場 政 幸
取 締 役	貫 和 之
取 締 役	大 林 守 史
常 勤 監 査 役	白 岩 憲 史
監 査 役	中 崎 正 彦
監 査 役	高 橋 利 隆
常 務 執 行 役 員	渡 辺 英 夫
常 務 執 行 役 員	鎌 木 信 良
執 行 役 員	大 澤 賛
執 行 役 員	橋 本 哲 芳
執 行 役 員	森 田 健
執 行 役 員	小 柴 修 平

(注) 1. 貫和之、大林守の両氏は、社外取締役であります。
2. 白岩憲史、中崎正彦の両氏は、社外監査役であります。

●株式の状況●●●

●発行可能株式総数 92,000,000株
●発行済株式の総数 29,985,531株
●株 主 数 5,495名
(前期末比306名減)

●連結子会社の状況●●●

会 社 名	資 本 金 (百万円)	当社の議決権比率 (%)
北 興 産 業 株 式 会 社	30	100
美 瑛 白 土 工 業 株 式 会 社	10	100
ホクコーパックス株式会社	10	100
張家港北興化工有限公司	1,800	100

(注) ホクコーパックス株式会社の当社の議決権比率には、間接所有40%を含んでおります。

●事業所の所在地●●●

支 店 札幌、秋田、仙台、東京、新潟、富山、
名古屋、大阪、岡山、高松、福岡
工 場 北海道、新潟、岡山
研 究 所 開発研究所(神奈川)、
化成品研究所(神奈川)
試 験 農 場 北海道、静岡